

やまぐち自然共生ニュース

やまぐち自然共生ネットワークは、県内で自然環境の保全活動や自然とのふれあい活動などを行っているグループや個人のネットワークです。

私たちは自然環境との共生によって、すばらしい自然環境を次世代に伝えていきます。

笠山椿群生林の秘密

「笠山の椿群生林は今何分咲きですか?」「満開はいつですか?」萩市役所にかかってくる電話で一番頭を悩ませるやり取りです。

もしもツバキがサクラのように、開花から落花が2週間程度で終わるならば返事の仕方もあるのですが、今シーズンはツバキの見ごろを伝える「開花宣言」を12月4日に発表、それから4月中旬までの約5ヶ月間、ツバキは次から次へと開花、落花を繰り返します。春一番の強風後は見事な「落椿ロード」です。

平成9年の3月に宮崎市で「国際ツバキ会議」が開催され、そのツアールートに群生林を組み入れていただき、11カ国60名の海外来園者に「ディスプレイ ジャパンカメラ オールナチュラル(このツバキは全て自然だ)」の反応はビューティフルでもワンダフルでもなく「オーマジック(魔法だ)」「ショック(衝撃だ)」と、多少のリップサービスがあるにしても感動していました。

1604年、毛利輝元が萩に入城時、この笠山は火山島が砂州で繋がっている状態であり、萩城から北東の方角(鬼門)に当たることから藩直轄の「御立山」として一切の立ち入りを禁じました。そのためほとんどがシイ、カシ、タブの大木が生い茂る原生林の状態でしたが、毛利氏が山口に移る明治以後は民間に払い下げられたため薪や炭としての伐採が進んだのです。



それまで、うっそうと茂る常緑広葉樹の森の木々は樹下にあったツバキとともに伐採されます。すると切り口から萌芽し、発芽待機していたツバキの芽は陽光が当たることで成長します。成長後は再度伐採され、最初の切り株はその萌芽数を増やし、種子成長したツバキは切り株から萌芽が始まり、発芽待機していた種子がいっせいに芽を出す。こうしたサイクルが明治初旬から昭和30年まで幾度となく繰り返された結果、他の常緑広葉樹は失われ生命力の強いツバキが残ったことから、全国でも例のない高密度の自生ヤブツバキの森が誕生したのです。

地元住民との関りで誕生した「人工林」は、歴史を抱いた世界有数のヤブツバキ林です。

萩市都市計画課 樹木医 草野 隆 司



会員団体の紹介

宇部自然保護協会

(所在地：宇部市、活動場所：宇部周辺地域)

昨年7月21日に山口県を襲った集中豪雨で、小野湖の湖面は例年になく大量の流木やゴミに覆われていた。今回で35年目を迎える小野湖の清掃作業は市長ほか130名以上の多くの参加者により、8月30日開催することができた。猛暑の中、作業は二か所に分かれ、湖水に胸までつかり流木を集める人、満杯になったかごを引き上げトラックまで運びこむ人、不燃ゴミを分別する人、とそれぞれ役割分担して作業を行っていった。地元企業のご協力を得て10tトラック2杯以上もの流木と不燃ゴミ20袋を引き上げることができた。

宇部・山陽小野田市民の飲料水原水である小野湖は宇部市の北部に位置したダム湖である。周囲は豊かな広葉樹林に包まれており、日本でも有数のオシドリの飛来地となっているほか、絶滅危惧種であるトモエガモの越冬地としても全国的に貴重な場所である。このような貴重な小野湖の清掃作業は当会の主要行事の一環でもありまた市民にも定着してきた事業でもある。

宇部自然保護協会は、宇部市の自然や環境の保護・保全活動を行うために1970年に設立された。会員数は現在140名である。当会は市民の水瓶である小野湖の環境保全と市民の憩いの場である裾野の広い霜降山山系の緑を守ることを活動の柱としている。これまでに霜降山横断道や小野湖のゴルフ場問題、また



大分県檜原湿原への自然探訪

建設中の湾岸道のヒヌマイトトンボ問題、そして現在、小野・美東地区に計画がある産業廃棄物最終処分場計画の阻止を市民や環境他団体とともに活動している。その他、県内外へ自然探訪を目的とした視察を行うことで、自然への理解を深める活動や、厚東川流域の環境保全を考える「宇部市の守るべき自然研修会」など保護意識の啓発に努める活動も行っている。

(文責：事務局 福場達朗)



豪雨後の小野湖、1/3を立木で覆われた



小野湖清掃作業



宇部市の守るべき自然研修会

情報コーナー

団体活動助成事業のお知らせ

1 こども自然共生プログラム推進事業について

県自然保護課では、平成19年度から実施していた県民協働型自然共生手作り事業の成果を踏まえ、22年度はこどもを対象とした事業を実施します。

(1) 事業の目的

次世代を担う子どもたちが自然のすばらしさや大切さを学習するための自然共生活動を支援し、推進するとともに、創造性豊かなこどもの育成を図る。

(2) 事業の概要（環境学習推進センターが募集等を行います）

項目	内容
こども自然共生活動推進プログラムの支援	自然とのふれあいや、自然環境保全のための実践活動や環境学習を支援 (自然とのふれあいの場づくり、希少種の保全等)
実践活動等の体験発表会	プログラム体験発表や意見交換等の実施

8団体程度を採択し、20万円を上限に活動に必要な経費を助成します。

活動に必要な経費とは、継続的な活動を行うために必要な資機材、燃料、教材等の購入費、及び講師謝金等で、団体の人件費や運営費、弁当代に充てることはできません。

プログラムは、特定のフィールドで行われる継続的な取り組み（自然とのふれあいの場作り、希少動植物の保護など）で、年に3回以上の実践活動を実施するものを対象とします。

2 アサヒビール(株)の社会貢献活動について

アサヒビール(株)が21年度から全国で実施している社会貢献活動「アサヒスーパードライ「うまい!を明日へ!」プロジェクト」(スーパードライの売り上げ1本につき1円を寄附)の第3弾が下記により実施されます。

山口県での寄附金は、やまぐち県民活動きらめき財団を通じて、ナベツルの保護活動等の自然環境保全活動に助成されます。なお、第1、2弾による寄附金額は合計で953万円にのぼり、一部がナベツルのねぐら周辺の整備に使用されました。

やまぐち県民活動きらめき財団では、アサヒビール(株)からの寄附金を原資に、「きらめきファンド助成事業」を22年度から大幅に拡充する予定です。

1 キャンペーン期間

3月上旬～5月中旬

2 今後の予定

キャンペーンは、22年秋、23年春・秋にも実施される予定です。

3 その他

助成事業の募集要領はホームページ等でお知らせします。

4月・5月の行事予定

4月	行事名	場所・時間等	連絡先
3 土	ふるさと紀行30周年記念全国の集い (～4日) (ふるさと紀行創刊30周年を記念して、全国の愛読者、寄稿者がランプの宿に集います)	場所：ヒュッテ桂谷ランプの宿 (山口市小郡桂谷)	ヒュッテ桂谷ランプの宿 (083-972-8848)
11 日	下関地区探鳥会 (角島の野鳥たち) 雨天中止	集合時間、場所 8時に新下関駅に集合	日本野鳥の会山口県支部 下関地区 乾幹事 (0832-56-1133)
17 土	シギ・チドリ春の渡り観察会 (春の渡りの季節、小さな体で一生懸命北に渡るシギ・チドリが羽を休める姿を観察します)	時間：9時～12時 場所：厚狭川河口 集合：9時に山陽小野田市役所前に集合	日本野鳥の会 山口県支部担当 (083-929-0838)
17 土	ヒゼンマユミがたいへんだ (県指定天然記念物「蓋井島のヒゼンマユミ群落」を守るために竹を一緒に切りませんか) 小雨決行 蓋井島フェリーの運賃が別途必要です 5月22日(土)にも開催します	日程：8時15分吉見港集合、 9時5分蓋井島港着、15時50分 蓋井島港発、16時25分吉見港 着、解散 持参物：水筒、昼食、タオル、 軍手、雨具、防止、竹切り 鋸(ある方)	山口県自然観察指導員協議 会第5支部長 植田高弘 (083-258-2706)
18 日	里山環境講座 自然体験、春の禅定寺山に登ろう！ (春の洗浄寺山に登りながら、さくらの花見をしたり、山菜や樹木、草木の名前を知り、自然環境について学ぶきっかけづくりをします。元気で楽しくふれあいの一日をすごしましょう！！) 申込期限：4月14日(水)	定員：約20名(小中学生以上) 時間：9時～14時 場所：ヒュッテ桂谷ランプの宿 参加費：無料 持参物：弁当、飲物、タオル など	ヒュッテ桂谷ランプの宿 (083-972-8848)
18 日	美祢地区探鳥会 (厚東川上流域の野鳥をたずねて) 雨天中止	時間：8時30分～12時 場所：美祢市秋芳町下郷厚東 川上流域 集合場所：8時30分に美祢市 秋芳町下郷小学校 飲料・雨具等持参	日本野鳥の会山口県支部 美祢地区 鹿間幹事 (0837-52-4151)
19 月	弟見山の観察会 詳細はお問い合わせ下さい 平日は18時以降、土曜・日曜・休日は9時以降	場所：弟見山(周南市)	山口県自然観察指導員協議 会・第3支部長 赤間 正 (090-5375-3571) E-mail akama@h.do-up.com
25 日	第12回理事会	場所：山口県セミナーパーク	
29 木祝	羅漢山の観察会 詳細はお問い合わせ下さい 平日は18時以降、土曜・日曜・休日は9時以降	場所：羅漢山(岩国市)	山口県自然観察指導員協議 会・第3支部長 赤間 正 (090-5375-3571) E-mail akama@h.do-up.com
5月	行事名	場所・時間等	連絡先
5 木祝	十種ヶ峰の観察会 詳細はお問い合わせ下さい 平日は18時以降、土曜・日曜・休日は9時以降	場所：十種ヶ峰(山口市)	山口県自然観察指導員協議 会・第3支部長 赤間 正 (090-5375-3571) E-mail akama@h.do-up.com
30 日	平成22年度 やまぐち自然共生ネットワーク通常総会 及び交流行事	(予定) 日程：10時～15時 場所：コアプラザかの (周南市大字鹿野上910)	

やまぐち自然共生ネットワークでは、みなさまからの情報をお待ちしています。

活動報告、活動予定等がありましたら、下記までご連絡ください。

〔事務局〕〒753-0811 山口市吉敷上東二丁目4番5-201 田中 浩 (090-7971-6843)

〔広報担当〕〒753-8501 山口市滝町1-1 山口県自然保護課 内田 修 (083-933-3060)

E-mail h-tanaka43@nifty.com URL <http://www.gotjp.com/yama-kyou/>